

報道関係者各位

2025年1月24日

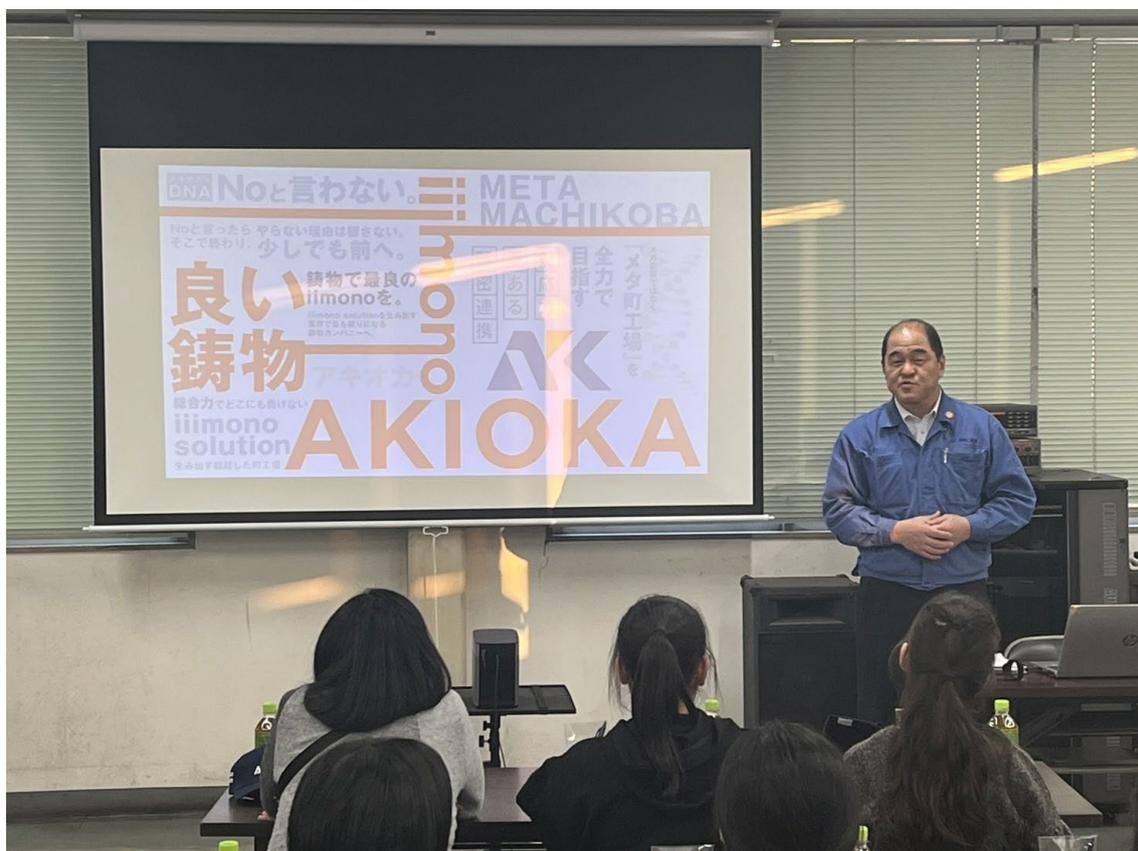
株式会社アキオカ

## 【アフターレポート】

# 「若い世代にモノづくりの面白さを伝えたい」

## 島根大学 ジュニアドクター育成塾の

## 工場見学を受け入れ



鋳物製品の生産・加工・組立てを行う株式会社アキオカ（本社：岡山県倉敷市、代表

取締役：秋岡正之、以下、アキオカ）は、次世代を担う若い世代にもものづくりの魅力を伝えるとともに、新たな研究材料を発見するきっかけ作りを目的として、島根大学のジュニアドクター育成塾である「しまだいジュニアドクター育成塾」の小中学生 10 名と教員 6 名を受け入れ、アキオカが誇る鋳物の工場見学を実施しました。

日本国内の鋳造業界はここ 10 年で事業所数が 41%も減少していることから、アキオカでは次世代を担う若い世代への鋳造技術伝承・ものづくりに関しての体験コンテンツの提供を積極的に実施しています。未来ある子どもたちのものづくりに対する興味関心を高めることにも貢献しています。

#### ■ アキオカが若い世代を受け入れる背景

まず、日本国内の鋳造業界はここ 10 年で事業所数が 41%も減少しています。また、国内の鋳造事業所の 71%は従業員 30 人未満の小規模事業者であり、生産能力確保に力を注ぐあまり、技術開発や基礎研究を進める余力がありません。

さらに数年後には団塊の世代の職人たちが退職、後継者が育たない・見つからないなどの問題から、さらに鋳造企業は減少をしていく予測されています。

アキオカではこれらの問題を自分ごとに捉え、次世代を担う若い世代への技術伝承とものづくりへの関心を高めるために、積極的に工場見学や体験型学習の受け入れを行っています。

ものづくりの魅力を伝え、鋳造技術の重要性を理解してもらうことは、未来の技術者や研究者を育成するために欠かすことができません。

アキオカでは、現場での直接的な体験を通じて、子どもたちが日本の工業技術に対する興味を持つきっかけ作りを目指しています。

さらに、アキオカは自社工場での製品生産と海外調達との 2 つの事業形態を通じて、高



**iiimono solution**

品質かつ効率的な鋳造を実現してきました。日本国内の鋳物産業は、原材料費の高騰や人材不足により課題を抱えています。アキオカは「若い世代にモノづくりの面白さを伝えたい」という思いで、業界全体の発展に寄与しています。

今回の「しまだいジュニアドクター育成塾」の受け入れは、未来の技術者を育てるための取り組みの一環であり、日本のものづくりへの理解を深めてもらう絶好の機会となりました。

アキオカでは「ノウハウは広く公開し、新たに作っていくもの」という信念のもと、工場での鋳造、品質管理などのノウハウは企業見学を通じて積極的に公開しています。特に、海外企業からは町工場で良い製品を作る日本のモノづくりへの関心が高く、高評価を得ています。また、社内でもステークホルダーの来訪が社員の士気を向上させ、業務の社会的意義を再認識するきっかけとなっています。

#### ■ アキオカ工場見学の概要

参加者はまず、アキオカの仕事内容や鑄造技術についての簡単な説明を受け、鑄造プロセスの一連の流れを学びました。その後、実際の工場内を見学し、鑄物の製造過程を間近で体験しました。1. 砂込め体験



砂型を作成する造型工程を体験できるコーナーでは、キネティックサンドを用いて砂場遊び感覚で鑄造の基礎を学びました。この体験は大人気で、時間いっぱいまで参加者が集中して取り組んでいました。

## 2. 打音検査体験



打音検査では、材料や金属の厚みによる音の違いを体感し、音によって鋳物の品質を確認するプロセスを学びました。特に、アキオカの鋳造技術課が考案した「ハニ造」を使用した体験は、大きな反響を呼びました。

### 3. 低融点合金を用いた注湯（ちゅうとう）体験



注湯（ちゅうとう）体験では、低融点合金を使用し、実際に金属を型に流し込む作業を体験しました。「静かに素早く注ぐ」というプロセスのコツを学び、代表生徒が実際に実施しました。この体験を通じて、鑄造の精度が製品品質に与える影響について理解を深めました。

#### ■ 「しまだいジュニアドクター育成塾」参加者の声

今回の工場見学に参加した島根大学ジュニアドクター育成塾の生徒たちからは、以下のような感想が寄せられました。

「砂込めはとても楽しかったです。砂を使った型の外し方が意外と難しかったです。でも、とても面白かったです！」

「普段見ないような大きな設備を見れて新鮮でした。大きな音で動いていて驚きました。」



**iiimono solution**

「自分で金属を流し込むことができ、感動しました。鋳造はとても繊細な作業だと実感しました。」

■株式会社アキオカについて

1966年、岡山県倉敷市創業。建設機械や工作機械、各種設備の鋳物部品メーカーとして建設機材メーカーなどを中心に部品の製造・供給を行っています。アキオカは「iiimono solution」を掲げ鋳造品を届けるためにパートナー企業・海外企業と一体となり鋳物カンパニーへと進化を続けています。

株式会社アキオカ

代表取締役：秋岡正之

本社：岡山県倉敷市玉島乙島 8252-35

従業員数：93人(2024年12月27日現在)

<https://akioka1966.co.jp/>

▼本件に関するお問い合わせ先

株式会社アキオカ 広報部

ak.promotion@akioka-ltd.jp